

職場の中心に 労働組合を！

国労千葉地本運輸区統合分会 SOGA 班新聞

社員が、利用者まで欺く！

プレス発表と

社員向けが同時？！

新しい会社施

策が出来る時、以前は当然のように組合提案があり、少なからず社員の声も反映される場面もありました。が、この数年間で会社が労働組合の存在さえ無視し始め、様々な施策に関して「提案」でなく

施策に非難轟々！

「決定して実施」という形で、直に職場に落ちて来るようになりました。このこと事態がまず、断じて許せません。また、この数年のダイヤ改「正」の内容についても、現場で働く社員と一般利用者

（プレス発表が同じタイミングで知る事態となり、社員は精査する間もなく、いきなり利用者）に詰め寄られるといった場面も増えました。ダイヤ改も普段の施策についても、現場をまる



つきり分かってない（あるいは無視した）内容ばかりで、職場では不安と怒りの声が渦巻いています。

京葉線に快速は

必要なのか？

3月のダイヤ改「正」

では、特に当区に関する京葉線絡みの変更で、幾つかの自治体から苦情や改善要望が出ていることは周知の通りです。

その大きな目玉となっているのが①快速の大幅減便（一部時間帯の廃止）、②内房線外房線の直通通勤快速の廃止・

・等々であります。まず①ですが、非難承知の上で言わせてもらえば「京葉線に快速は必要ない」であります。その根拠は、特に乗務員側からすれば、停車駅通過や、通過駅停車でドア開け等の事故などなくな

ります。また、車掌の「どちらが早い？」とか「途中で待ち合わせ、乗換えが出来ます、通過待ち」などの余計な放送や心配も確実に減ります。

現在イベント時には、各駅カラカラ、快速キユーギユー超満員といった状況が作られています。全列車各駅停車なら、それも均等に解決します。

ダイヤ乱れの異常時対応もやはり易いはず。何より、快速通過駅の利用者が確実に増えている状況では（会社の言う）「平準化はやはり必要

ではないかと考えます。あとは、快速停車駅が「格下げ？」といった声は・・・無責任ながらこ

1月1日に発生した石川県を中心とする大地震で、亡くなられた方、被害に遭われた方々に心よりお悔やみ申し上げます。

失くしちゃダメ！
何より各自自治体、利用者が怒っているのが②だと思えます。

233系通勤快速（蘇我〜東京間）で、特急より6〜7分程度の差）があったから、内房、外房に引越せた、それがなくなったら・・・と、その怒りは当然であります。何故、

京葉線の目玉でもある朝夕の通勤快速をなくす必要があるのか、こちらは乗務員の立場から

もよくわかりません。このあたりになるのか？！

分会執行委員会&送別会
1月30日（火）13時、地本会議室（役員以外も参加自由）
名島孝志さん（千葉運輸区・車掌）送別会
会議終了後、西千葉で行ないます。多数の参加をお願いします。

☆ 利用者に対してもいきなりの通達では信頼を失っていくのは明らかです。信頼こそが頼りだったはずでは？